

エアコンの普及も。
省エネの普及も。



今や、社会を支えるインフラとして欠かせないエアコン。
その需要は新興国の経済発展に伴って世界的に拡大しており、
2050年にはエアコン冷房に起因する電力需要が現在の3倍になると予想されています。^{※1}
そんな中ダイキンは、世界中で省エネ製品の普及に努めています。

例えば中国では、ダイキンのインバータに関する高い技術力を活かして現地企業と比較的低価格なインバータエアコンを共同開発。
それを一つのきっかけとしてインバータ搭載機の比率は7%から76%まで上昇しました。^{※2}

世界150ヵ国以上で展開する空調メーカーの責任として、
ダイキンはこれからも、省エネと快適を両立する製品の開発、普及を続けます。

※1 IEA「The Future of Cooling」より ※2 当社調べ。2009年～2018年のウィンド・ボータブルを除く住宅用ダクトレスエアコンの比率。

空気で答えを出す会社 